

超速硬高靱性モルタル

オートモルスーパー

超速硬モルタル
シリーズ

有機繊維を用いた超速硬モルタルにより、道路橋RC床版の補修・補強工事における急速施工と床版耐久性の双方を実現することが出来ました。

特長

NETIS番号：KT-130067-A

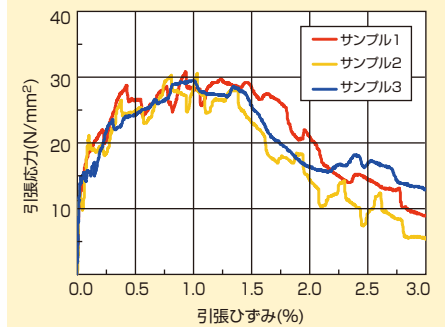
- 1 **超速硬性** ●3時間で24N/mm²以上の強度発現性で、様々な緊急補修シーンに対応。
- 2 **高靱性** ●「ひび割れ抵抗性」を高めた「HPFRCC」^{*}レベル
●「ひび割れ分散性能」による長期耐久性確保(右下グラフ参照)
※土木学会指針「複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材料」
- 3 **経済性** ●簡易システムの施工で施工コストが大幅削減。
- 4 **無錆** ●ファイバーは有機短繊維であり発錆なし。
- 5 **簡易施工** ●ハンドミキサーや汎用グラウトミキサーで練り混ぜ可能。
●簡単なモルタル押さえで、重機による締め固め不要。
●水を加えるだけのプレミックスモルタル。



物性

試験内容	単位	測定結果	試験方法	
可使用時間	min	45~60		
単位容積重量	kg/m ³	2.14		
スランブフロー	mm	410×410		
空気量	%	3.2	JIS A 1128	
圧縮強度	3時間	N/mm ²	27.2	JIS A 1108
	7日	N/mm ²	51.8	JIS A 1108
	28日	N/mm ²	58.0	JIS A 1108
曲げ靱性係数	N/mm ²	5.14	JSCE-F 551	
ヤング係数	×10 ⁴ N/mm ²	24.2		
付着強さ	N/mm ²	2.4	建研式	

引張応力-ひずみ曲線



- 初期ひび割れ発生後も耐荷力が増大
- ひび割れ分散による耐久性増大

適用例



ポンプ圧送による流し込み



ポットホール



簡易フィニッシャーによる仕上げ

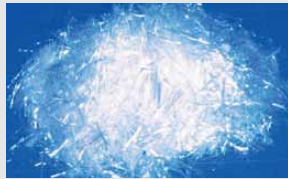
標準配合

オートモルスーパー	オートファイバー	水量	練り上がり量
25kg	1袋	4.5kg	13.3ℓ
75kg	3袋	13.5kg	40.0ℓ
1,880kg	プレックス	338kg	1m³



オートファイバー

※オートファイバーは20袋/CSです。出来るだけ袋から出してほぐしてお使いください。



オートファイバー(綿状ポリプロピレン繊維)



フレッシュ性状



曲げ試験体のひび割れ面(繊維による引張抵抗)



ハンドミキサーによる混練



スーパーファイバーミキサー(150ℓ)



関連 資材

接着剤/防錆剤/その他



吸水調整材
(固形分45%)
キープジョンK-100



亜硝酸リチウム系防錆材
(40%水溶液)
RM40S



打継ぎ用エポキシ樹脂
EP接着剤シリーズ



亜硝酸リチウム系防錆材
リペアペースト

断面修復材



断面修復用
ポリマーセメントモルタル
リバアミックス



セメント系
断面修復材
リバアミックスJ1



断面修復用
プレミックスコンクリート
リバアミックスNEXT

超速硬コンクリート



超速硬型高靱性
繊維補強コンクリート
オートモルスーパーG



超速硬
プレミックスコンクリート
JCパック

無収縮グラウト材



セメント系
無収縮グラウト材
グラウトミックス

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。



危険

重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害(呼吸器系)。
長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系・腎臓)。

【安全対策】・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。

【応急措置】・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。
・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。
・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

【保管】・部外者が触れないような措置をし、保管すること。
【廃棄】・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

注意事項

【使用上の注意】・気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。
・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。
・本製品はセメント製品につき温気厳禁。雨露や直射日光を防止、ノリット等を敷き床面から離し、通気の良い場所で保管し、製造後3ヶ月までを目安に使用すること。

カタログに 関する 注意事項

・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。
・本カタログは2016年5月に作成しました。

株式会社 トクヤマ エムテック

URL <http://www.k-tokuyama.co.jp>

ISO 9001



JTCCM

OSCA

RQ 1957

(登録範囲) <http://www.jtccm.or.jp/>



MS

JAB

CM015

本社・東日本事業部	103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-2-5 ERVIC人形町6F TEL 03-5643-3601 FAX 03-3249-3615
中日本事業部	573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3 TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125
中国営業所	745-8648 山口県周南市御影町1-1(株)トクヤマ セメント開発グループ2F TEL 0834-62-7201 FAX 0834-62-7202
西日本事業部	九州営業所
861-0821 熊本県玉名郡南関町大字下坂下4821-1((株)熊本硅砂鉱業内)	TEL 0968-53-9201 FAX 0834-62-7202
首都圏セメント建材 開発センター	299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10 TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

販売店